平成２４年度岩盤備蓄基地に係る保安検査基準等検討分科会

第１回議事録

打合せ日時		２０１２年5月１５日（火）１４：００～１７：３０
打合せ場所		日本消防会館　会議室
出席者	委員	駒田主査、稲田副主査、小野、阪田、徳永、大田、浮田、萩原、渡辺、阿子島、宮下（征矢代理）、近藤
	オブザーバー	寺門、武石、馬場
	事務局	安田理事、松本部長、長沼、須知、宮下　　（以上２０名参加）
確認欄		

【配布資料】

（１）資料－１　平成 22 年度第 2 回分科会議事録
（２）資料－２　保安検査基準制定スケジュール
（３）資料－３　分科会の経緯
（４）資料－４　分科会後の修正事項
（５）資料－５　技術文書素案

【議事内容】

１．開会
事務局より定員１５名中、代理出席を含め１２名の出席であり、委員会が成立している旨の報告がなされた。

２．挨拶
安田理事挨拶
JOGMEC 武石審議役 波方基地、倉敷基地現況説明

３．委員紹介、欠席委員紹介

４．駒田主査挨拶、配布資料確認（資料番号１～５）

５．資料－１～４
①資料－１は、既に書面投票により承認されているが、前回分科会から時間が経過しているため、改めて配布した。
②資料－２は、保安検査基準の告示化に向けてのスケジュールであり、現在パブリックコメント中である。今後、異議申立期間、プロセスレビュー、経営会議、部長会議等を経て国へ申請する予定である。倉敷基地はコンビ則の完成検査を 8 月末に受ける予定であ

る。来年の８月を目途に告示化を予定している。
倉敷基地では保安検査開始までの時間的余裕がないが間に合うか。
→パブリックコメントにおいて意見が提出された場合は、更に１ヶ月程度の時間が必要となり厳しい。

③資料－３は、岩盤備蓄基地関係の保安検査基準及び定期自主検査指針の検討経緯を示した。
資料－３の文章表現に誤解を招く恐れのある箇所がある。
→修正すべきコメントを５月 22 日までにいただきたい。

④資料－４は、前回の分科会資料と規格委員会において決議された保安検査基準を対比したものである。
資料－４における定期自主検査指針の水封機能に関する箇所は、前回の分科会の表現を踏襲した方が良かったのではないか。
→前回の分科会における定期自主検査の水封機能に関する記述を技術文書に記載することとし、次回の改正時には分科会での意見として反映させる。

６．資料－５

・この資料は、分科会における書面投票により作成することとなったものである。
・技術文書は保安検査基準のみを対象としているのか。
→行政と製造業者間に解釈の相違が生じないようにすることが目的であるため、保安検査基準を中心に記載しているが、一部では定期自主検査指針の考え方を記載している。
・p.1 の表現は不明確である。6 行目に「検査方法等について解説したもの」と記載されているが、耐震設計構造のように必ずしも検査方法の解説になっていないものがある。
「検査方法（考え方）等について解説したもの」としてはどうか。
→p.1 の最終パラグラフとの整合性も考えて修正したい。
・下から 14 行目～15 行目の「水封機能の他、……」は下から５行目に移動させた方が良い。
→5 月 22 日までのコメントと合わせて修正案を送付するので、再度コメントをいただきたい。
・p.7 の液面計は不要ではないか。
→削除する。
・p.18 の 8.1 概要の表現がおかしい。
→5 月 22 日までのコメントと合わせて修正案を送付するので、再度コメントをいただきたい。
・p.19 の 8.2 検査の(2)検査の方法は前回の分科会の記述を基にして修正する。

７．今後の予定

・本日の会議により、検討事項及び修正事項が多々あるので、分科会を再度開催することとし、委員会の日程を調査し、案内させていただく。
・本日の会議におけるコメントは、5 月 22 日までにお願いしたい。

以　上